「建設技術展２０２３ 関東」
事業報告書

２０２４年（令和６年）２月２１日
日刊建設工業新聞社

■実施概要

【日　時】２０２３年１１月１５日（水）10:00~17:00／１６日（木）10:00~16:00

【会　場】サンシャインシティ展示ホールC+D（東京都豊島区東池袋3-1-４）

【実施内容】①企業・団体の展示　計１８６社・グループ、２１５ブース

②ステージ・プログラム（講演会ほか）　③パネル展示など

【オンライン展示会】

サイト公開期間：１１月１５日（水）から１２月２８日（木）の間

①企業・団体の紹介ページ

②ステージプログラムの放映　※１１月２２日（水）から１２月２８日（木）の間

【参加者】産学官の建設関係者、建設分野を専攻する生徒・学生、一般※事前登録不要・入場無料

【参加者数】合計：１９，３００名

リアル展示会参加者：１３，３００名（15日：6,500名/16日：6,800名）前回参加者数：10,800名
オンライン展示会参加者：６，１５０名 前回参加者5,850名
※事前登録不要・入場無料

【プログラム認定】土木学会CPDは各日4単位、全国土木施工管理技士会連合会CPDSは各日2ﾕﾆｯﾄ

【主催】日刊建設工業新聞社

【共催】東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、公益財団法人河川財団、公益財団法人日本下水道新技術機構、一般財団法人日本ダム協会、一般財団法人先端建設技術センター、一般財団法人国土技術研究センター、一般社団法人公共建築協会、一般財団法人建築コスト管理システム研究所、一般社団法人全日本建設技術協会、一般財団法人建設業振興基金、一般財団法人日本建設情報総合センター、一般財団法人経済調査会、一般財団法人建設物価調査会、一般財団法人建築保全センター、一般社団法人日本建設業連合会関東支部、一般社団法人全国建設業協会、一般社団法人日本道路建設業協会関東支部、一般社団法人東京建設業協会、一般社団法人日本埋立浚渫協会、一般社団法人日本橋梁建設協会、公益社団法人土木学会関東支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会関東支部、公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、一般社団法人日本建設機械施工協会、一般社団法人関東地質調査業協会、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関東支部、一般社団法人関東地域づくり協会、一般社団法人茨城県建設業協会、一般社団法人栃木県建設業協会、一般社団法人群馬県建設業協会、一般社団法人埼玉県建設業協会、一般社団法人千葉県建設業協会、一般社団法人神奈川県建設業協会、一般社団法人山梨県建設業協会、一般社団法人長野県建設業協会

【後援】国土交通省関東地方整備局、東京都、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、長野県、山梨県、横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、さいたま市、独立行政法人水資源機構、公益社団法人日本道路協会、一般財団法人建設業技術者センター、一般社団法人国際建設技術協会、一般社団法人技術同友会

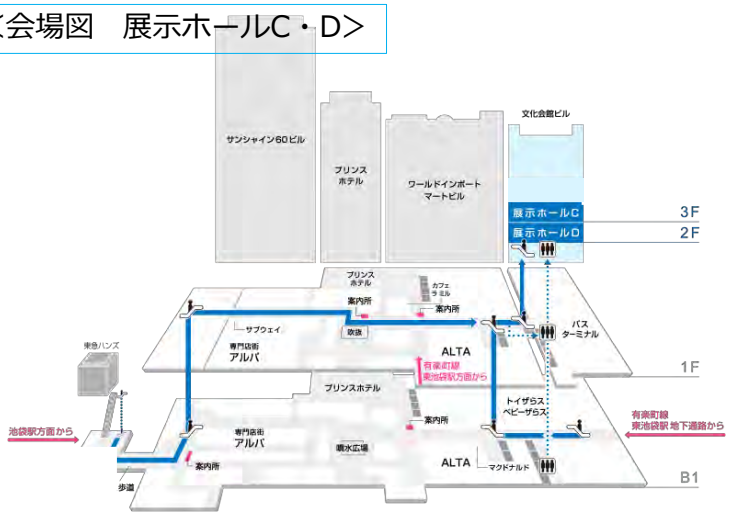
【アドバイザリーボード】

事業の公平性、公共性を保つための意見をいただくとともに、方向性を検証していただいています。

谷口博昭 氏（建設業技術者センター理事長）　座長
三輪準二 氏（土木学会専務理事）
大野昌仁 氏（日本建設業連合会常務執行役）
村岡　猛 氏（日本埋立浚渫協会専務理事）
木下誠也 氏（日本大学危機管理学部教授）
石上玄也 氏（慶應義塾大学理工学部機械工学科准教授）
西川昌宏 氏（国土交通省関東地方整備局企画部長）

■会　場

<会場図　展示ホールC・D>



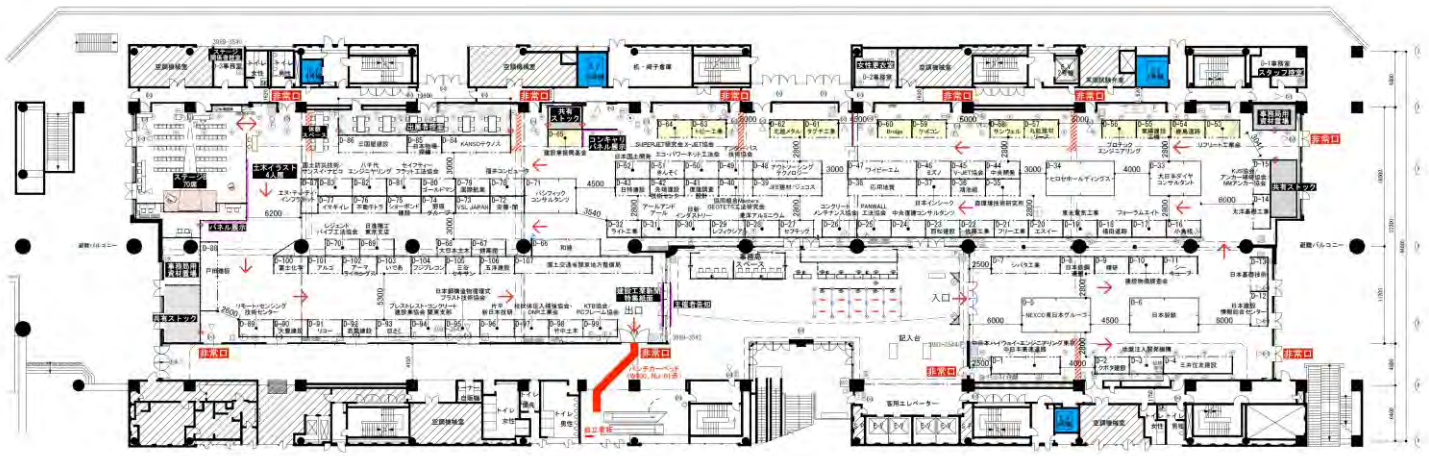
展示ホールD：文化会館ビル2F

面　積：3.341㎡（1.011坪）
天井高：3.0m（一部2.6m）
会場照明：900LUX
床荷重：平均300kg/㎡

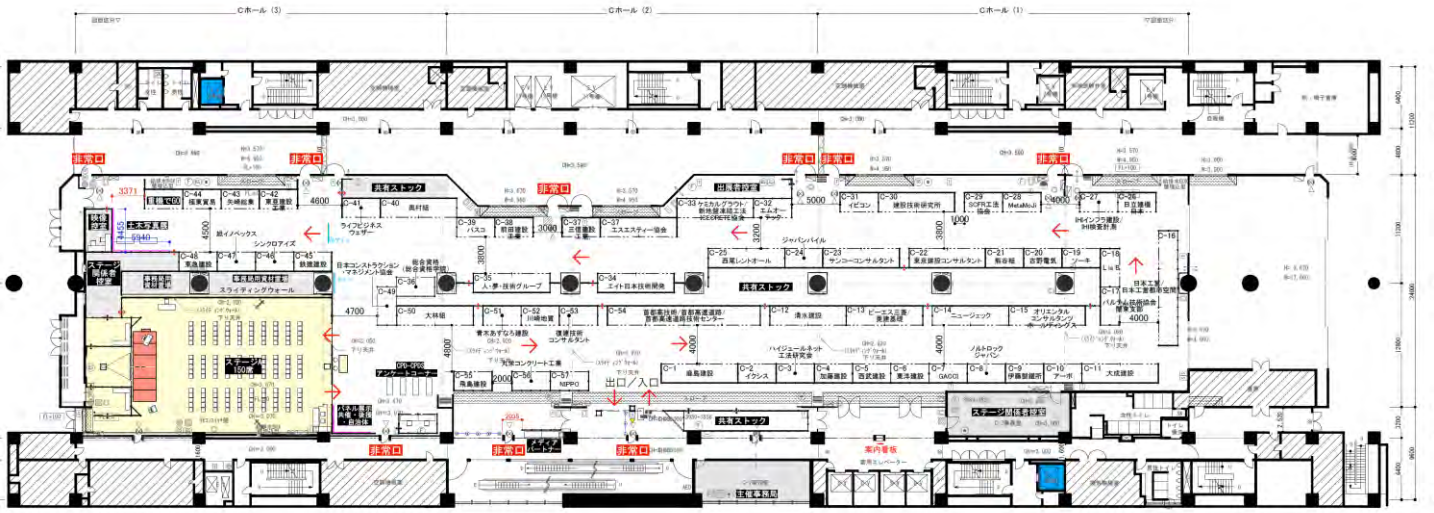
展示ホールC：文化会館ビル3F

面　積：2,860㎡（865坪）
天井高：3.67m（一部3.0m）
会場照明：900LUX
床荷重：平均500kg/㎡

<展示ホールD　会場レイアウト>

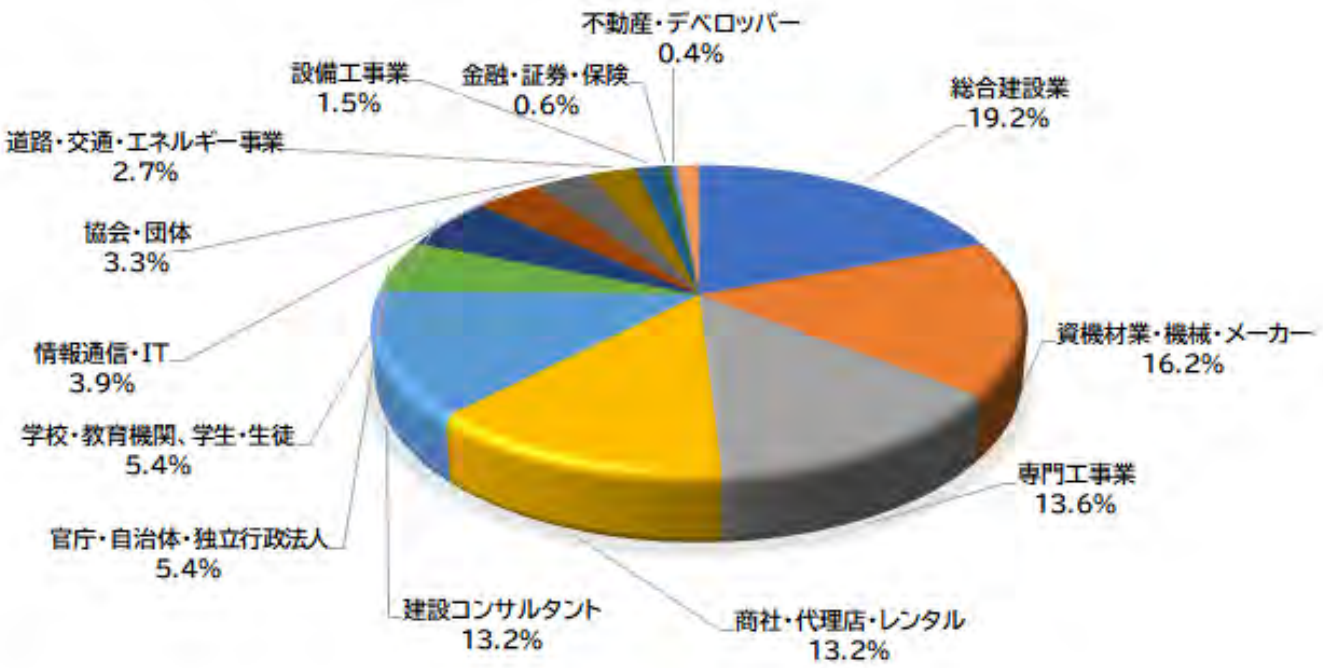


<展示ホールC　会場レイアウト>



■参加者属性

総合建設業	１９．２％
資機材業・機械・メーカー	１６．２％
専門工事業	１３．６％
商社・代理店・レンタル	１３．２％
建設コンサルタント	１３．２％
官庁・自治体・独立行政法人	５．４％
学校・教育機関、学生・生徒	５．４％
情報通信・IT	３．９％
協会・団体	３．３％
道路・交通・エネルギー事業	２．７％
設備工事業	１．５％
金融・証券・保険	０．６％
不動産・デベロッパー	０．４％
その他	１．３％

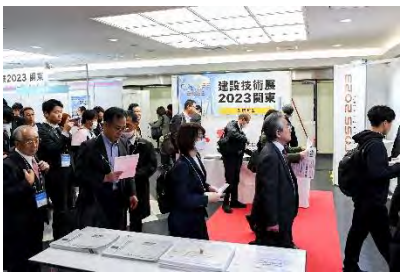


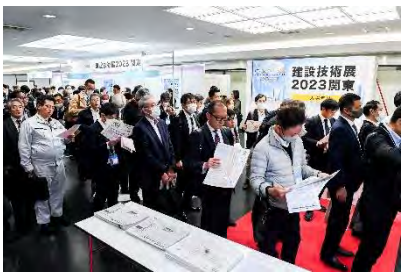
■開会式

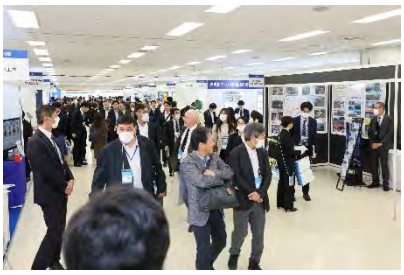
【日時）１１月１５日（水） ９：３０
【会場】受付スペース（Ｄホール）
【進行】
　主催者挨拶　日刊建設工業新聞社代表取締役社長　飯塚秀樹
　来賓挨拶　　吉岡幹夫 氏　国土交通省技監
　開会宣言　　谷口博昭 氏　建設業技術者センター理事長・建設技術展アドバイザリーボード座長
　テープカット
（ご登壇者）
　吉岡幹夫 氏　国土交通省技監
　藤巻浩之 氏　国土交通省関東地方整備局長
　谷口博昭 氏　建設業技術者センター理事長・建設技術展アドバイザリーボード座長
　佐藤直良 氏　先端建設技術センター顧問・建設技術展注目技術賞審査委員長
　花井徹夫 氏　東京都建設局道路監
　金子　勉 氏　埼玉県県土整備部長
　三輪準二 氏　土木学会専務理事
　須田久美子氏 建設産業女性定着支援ネットワーク幹事長
　大野昌仁 氏　日本建設業連合会常務執行役
　村岡　猛 氏　日本埋立浚渫協会専務理事
　桜田茉央 氏　タレント、２級建築士
　日刊建設工業新聞社代表取締役専務　高橋治光

■企業・団体の展示　（展示ホールD）

出展者（五十音順）：
アーマライニングス、アールアンドアール、アウトソーシングテクノロジー、アルゴ、
アンダーパス技術協会、安藤ハザマ、いであ、イマギイレ、エコ・パワーネット工法会、エスイー、
エヌ・ティ・ティ・インフラネット、応用地質、鹿島道路、片平新日本技研、KANSOテクノス、
きんそく、クボタ建設、ケイコン、KJS協会/アンカー補修協会/NMアンカー協会、
KTB協会/PCフレーム協会、建設物価調査会、鴻池組、ゴールドマン、国際航業、
国土防災技術/サンスイ・ナビコ、小島組、五洋建設、コンクリートメンテナンス協会、佐藤工業、
サンウェル、シーキューブ、JSCB 日本鋼構造物循環式ブラスト技術協会、JFE建材、ジェコス、
協同組合Masters GEOTETS工法協会、シバタ工業、地盤注入開発機構、ショーボンド建設、
SUPERJET研究会/X-JET協会、精研 / 地盤凍結工法協会、セイフティーフラット工法協会、銭高組、
セフテック、先端建設技術センター、大日本ダイヤコンサルタント、大日本土木、大豊建設、
太洋基礎工業、タグチ工業、竹中土木、中央開発、中央復建コンサルタンツ、
柱状体圧入補強協会/ONR工業会、東光電気工事、東洋アルミニウム、東陽建設工機、戸田建設、
トピー工業、中日本高速道路・中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京、西松建設、日さく、
日新インダストリー、日進機工東京支店、日特建設、日本製鉄グループ、日本インシーク、
日本基礎技術、日本建設情報総合センター、日本国土開発、日本鉄鋼連盟、日本物理探鑛、
野原グループ（Matterportリセラー）、パシフィックコンサルタンツ、PANWALL工法協会、
東日本高速道路・ネクスコ・メンテナンス関東・ネクスコ東日本エンジニアリング、
ヒロセグループ（ヒロセホールディングス／ヒロセ／ヒロセ補強土／成幸利根／産業リーシング）、
VSL JAPAN、V-JET協会、フォーラムエイト、福井コンピュータ、福田道路、富士化学、
フジプレコン、復建調査設計、不動テトラ、フリー工業、Ｂｒｉｄｇｅ・ソフトバンク、
プレストレスト・コンクリート建設業協会関東支部、プロテックエンジニアリング、北越メタル、
丸紅建材リース、三国屋建設、ミズノ、三谷セキサン、三井住友建設、森環境技術研究所、
八千代エンジニヤリング、ライト工業、リコー、リフリート工業会、
リモート・センシング技術センター、レジェンドパイプ工法協会、レフィクシア、ワイビーエム、
若築建設、和建
【特別出展】国土交通省関東地方整備局、建設業振興基金（建設キャリアップシステム）、日建学院

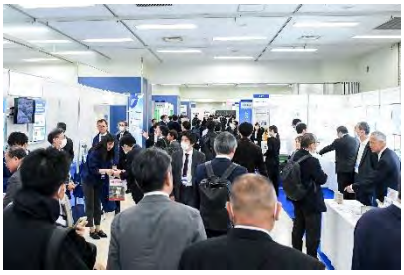


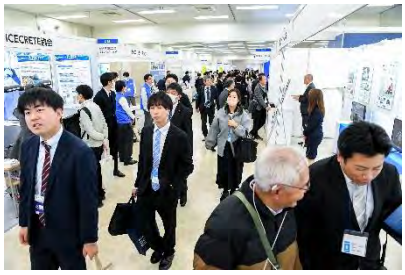




■企業・団体の展示　（展示ホールＣ）

出展者（五十音順）：
アーボ、IHIインフラ建設 /IHI検査計測、青木あすなろ建設、旭イノベックス、イクシス、
伊藤製鐵所、イビコン、エイト日本技術開発、エスエスティー協会・東京コンテック、
SCFR工法協会、エムオーテック、L is B、大林組、奥村組、
オリエンタルコンサルタンツホールディングス、鹿島建設、GACCI、加藤建設、川崎地質、
極東貿易、熊谷組、ケミカルグラウト、建設技術研究所、サンコーコンサルタント、
三信建設工業、清水建設、ジャパンパイル、
首都高速道路・首都高速道路技術センター・首都高技術、シンクロアイズ、
新地盤凍結工法 ICECRETE協会、西武建設、総合資格（総合資格学院）、ソーキ、大成建設、
鉄建建設、東亜建設工業、東急建設、東京建設コンサルタント、東洋建設、飛島建設、
西尾レントオール、NIPPO、日本工営・日本工営都市空間、
日本コンストラクション・マネジメント協会、ニュージェック、ノルトロックジャパン、
ハイジュールネット工法研究会、パスコ、パルテム技術協会関東支部、ピーエス三菱、
日立建機日本、人・夢・技術グループ、復建技術コンサルタント、古野電気、前田建設工業、
丸栄コンクリート工業、MetaMoJi、矢崎総業、ライフビジネスウェザー、菱建基礎





■企画展示

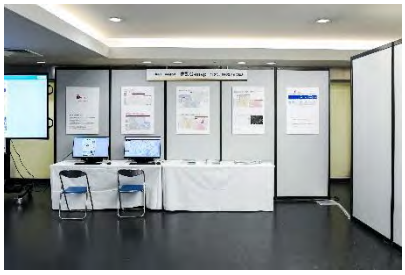
《パネル展示》
・東京都
・埼玉県
・千葉県
・建設産業女性定着支援ネットワーク
・水資源機構
・日本建設業連合会関東支部
・日本道路建設業協会関東支部
・建設コンサルタンツ協会関東支部

《作品展》
◎土木ライター三上美絵の「かわいい土木」イラスト５人展
参加イラストレーター：いとう良一、ロココ・クリエイティブ、広野りお、Leia（れいあ）、IKCA drawing
◎第１６回土木写真部写真展 NO DOBOKU, NO LIFE.
土木技術者による土木構造物だけの写真展

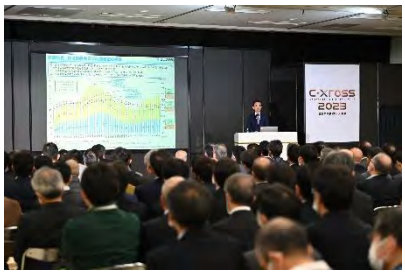
《重機でGo》

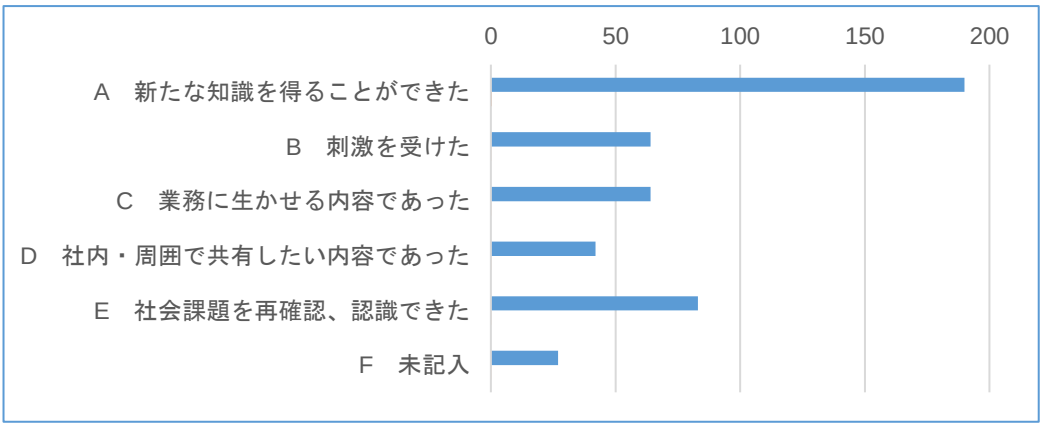
《コンキャリ》

《建設Ｇ－ＭＡＰ》



１０：４５
基調講演「国土交通省におけるインフラ分野のDX」
講師：森下博之氏　国土交通省大臣官房参事官（イノベーション）
聴講者：約２７０名　オンライン視聴者：約５００名

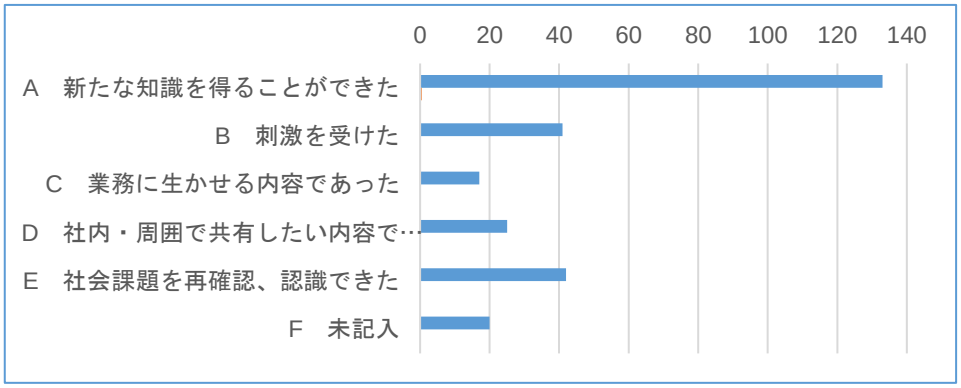




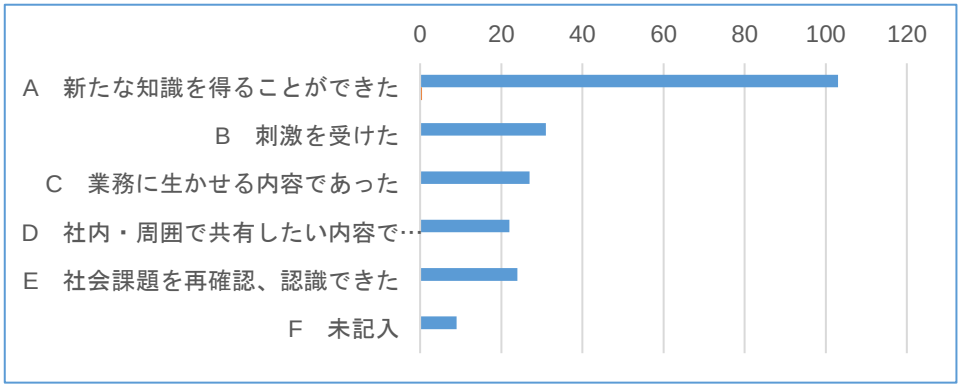
１３：３０
国土交通省関東地方整備局主催「建設技術フォーラム」　オンライン視聴者：約１２０名

開会挨拶：藤巻浩之氏　国土交通省関東地方整備局長

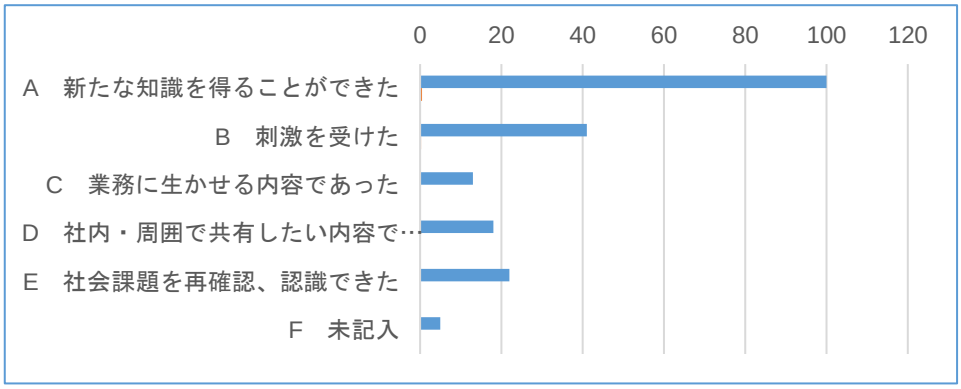
〈研究発表１〉生コンの廃棄物等を革新的に活用する材料技術開発
講師：細田暁氏　横浜国立大学大学院教授
聴講者：約２００名



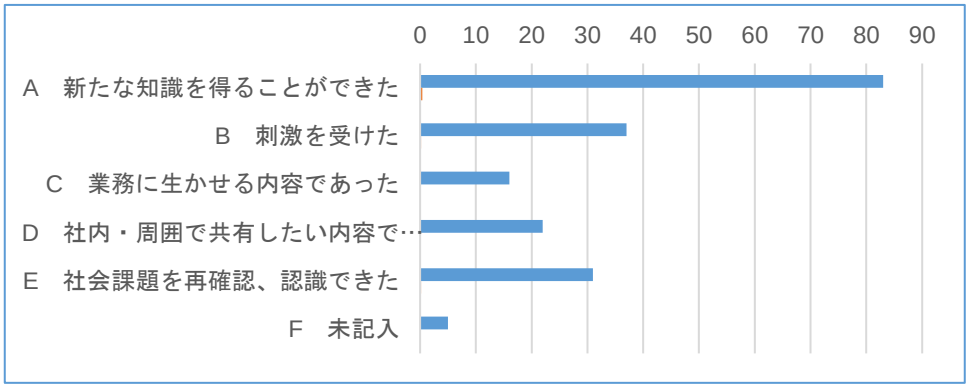
〈技術発表１〉
UNIMOWERS(傾斜地でパワフルに使えるオール電動草刈り機)
講師：竹内幹夫氏　株式会社ユニック
聴講者：約２１０名



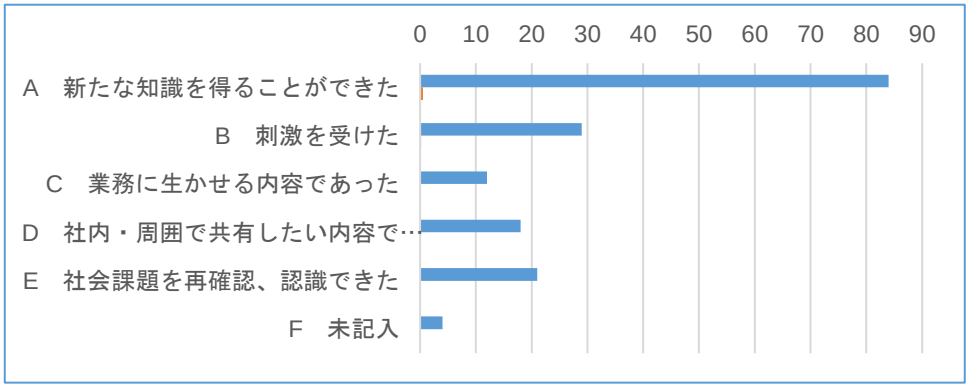
〈研究発表２〉河川監視カメラを活用した拡張現実技術の研究開発
講師：今村能之氏　東京都立大学教授
聴講者：約１５０名



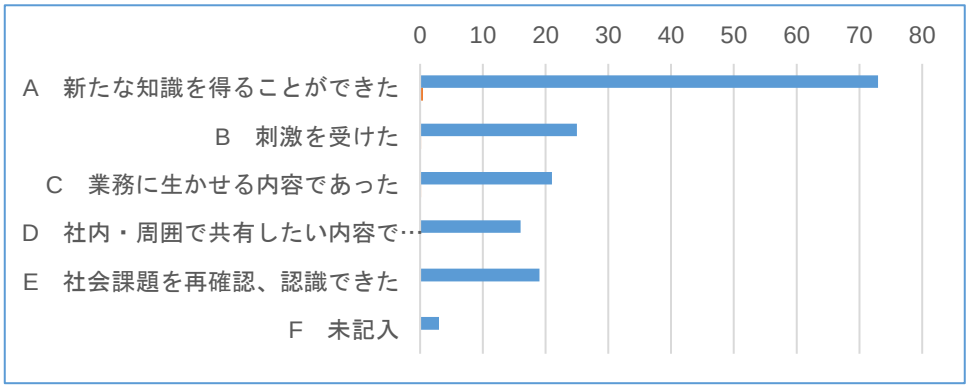
〈技術発表２〉土砂掻き起こし機械(シェイブ)
講師：稲垣孝氏　日本ロード・メンテナンス株式会社
聴講者：約１３０名



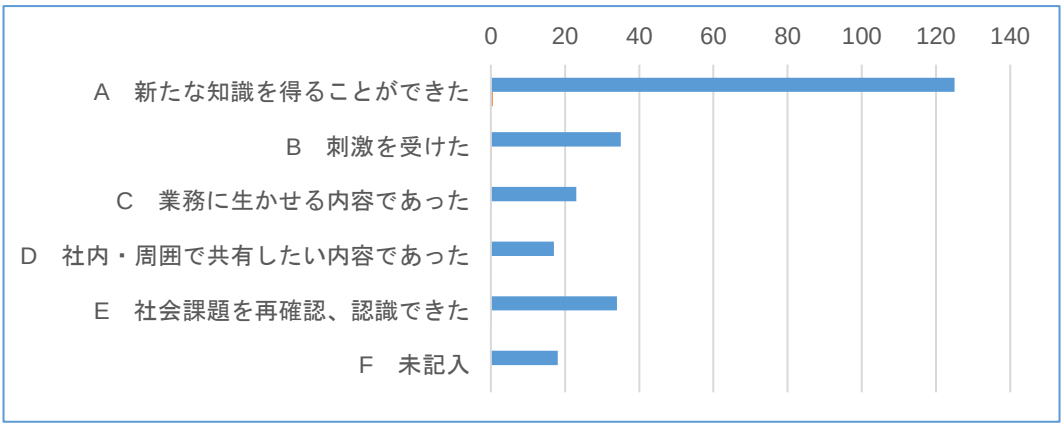
〈研究発表３〉画像処理に基づく路面性状認識
講師：中村明生氏　東京電機大学教授
聴講者：約１１０名



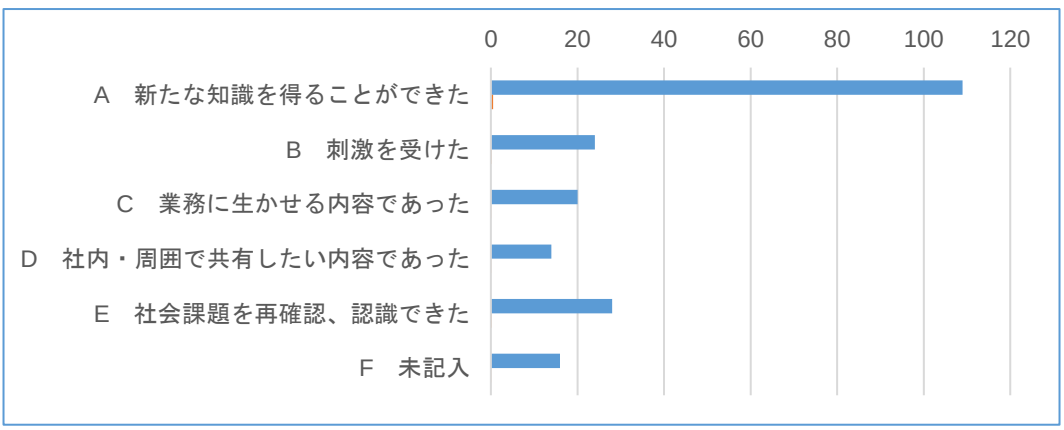
〈技術発表３〉
深層学習と赤色立体地図を用いた航空レーザデータのフィルタリング技術
講師：角田里美氏　アジア航測株式会社
聴講者：約８０名



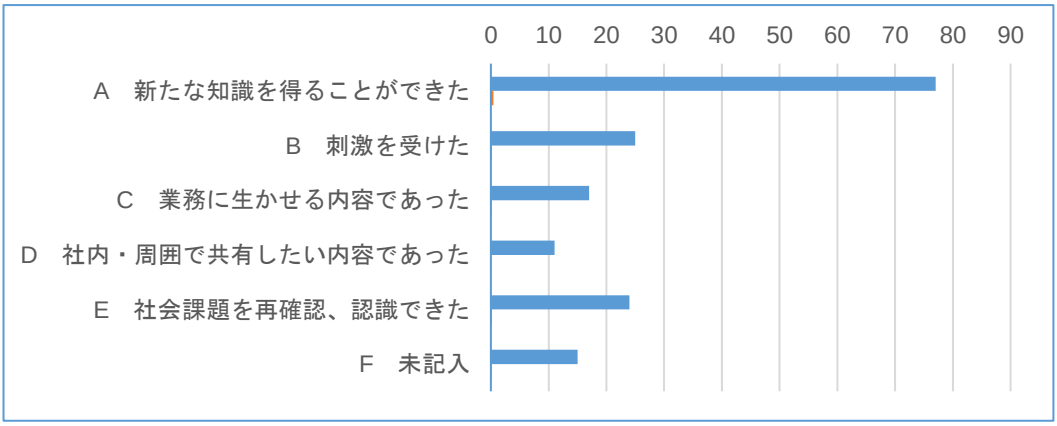
１０：３０
講演「首都東京の都市づくり」
講師：中島高志氏　東京都技監 建設局長兼務
聴講者：約１７０名　オンライン視聴者：約１２０名



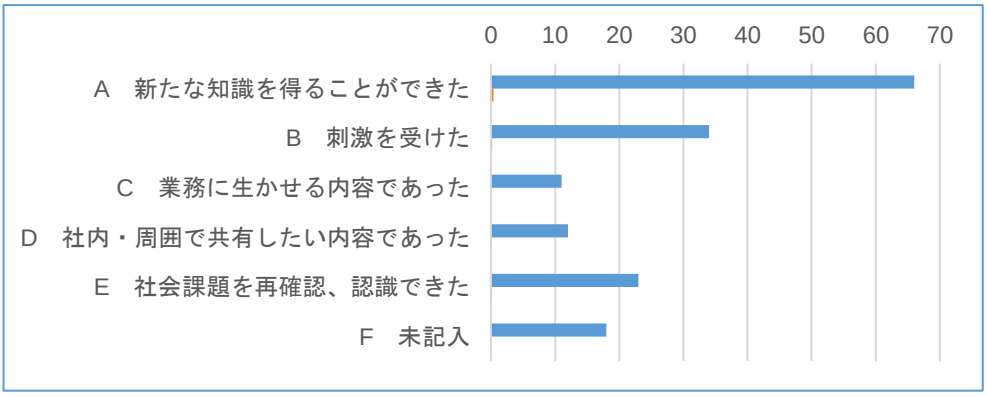
１１：３０
講演「首都高をめぐる最近の話題について」
講師：土井弘次氏　首都高速道路取締役常務執行役員
聴講者：約１５０名　オンライン視聴者：約１００名



１３：００
講演「～千葉の未来を切り開く～ 「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現」
講師：池口正晃氏　千葉県県土整備部長
聴講者：約１５０名　オンライン視聴者：約１００名



１４：３０
パネルディスカッション　日本コンストラクション・マネジメント協会
「新社会人の私たちが考える、マネジメントのこれから」
出演：川原秀仁氏　日本ＣＭ協会会長、森田心氏 芝浦工業大学大学院、小幡嶺介氏 山下ＰＭＣ、杉本実紗希氏 日建設計ＣＭ、草刈雄介氏 ターナー＆タウンゼント、守屋あゆ佳氏 ロフトワーク
聴講者：約１４０名　オンライン視聴者：約１００名



１０：３０　桜田茉央氏（タレント、２級建築士）トークショー　聴講者：約１１０名

１１：２０　　日本工営　聴講者：約６０名オンライン視聴者：約２２０名
「共創を、世界の力に。日本工営グループは、ID&E ホールディングスへ。『自動設計システム』と『都市空間ビジュアライゼーション』のご紹介」
日本工営 青山直樹氏、山口裕二氏、日本工営都市空間 原郁巳氏

１２：００　ヒロセホールディングス　聴講者：約６０名　オンライン視聴者：約５０名
「ヒロセグループ総合力で最適提案~仮設橋梁･地下工事工期短縮･流域治水対策･現場環境改善~」
企画部門 企画グループ 伊藤和洋氏

１３：００　学生向けワークショップ「理系学生のための就職活動対策セミナー」
キャリア・ナビゲーション代表取締役 長嶋哲夫氏

１４：４０　オリエンタルコンサルタンツホールディングス
聴講者：約６０名　オンライン視聴者：約５０名
「DX技術を活用したｲﾝﾌﾗの調査･測量･設計･維持管理システム等に関するOCHDｸﾞﾙｰﾌﾟの取り組み」
アサノ大成基礎エンジニアリングインフラ保全事業部事業部長 早川和也氏、リサーチ アンド ソリューション営業部営業2グループプロジェクトリーダー 青木駆氏、オリエンタルコンサルタンツ河川砂防・港湾部技師 渡邊拓也氏

１５：２０　三国屋建設　聴講者：約７０名　オンライン視聴者：約４０名
「多機能組立台船(SD台船)の活用方法」
代表取締役 和田英司氏

１６：００　大日本ダイヤコンサルタント　聴講者：約５０名　オンライン視聴者：約４０名
「『大日本ダイヤコンサルタント、始動』～クリーンエネルギーとDX でサスティナブルへの挑戦～」
技術本部技術企画部保全環境開発室 佐藤明氏、インフラ技術研究所技術開発部 徳橋亮治氏、地質解析事業部物性評価部物理探査室 浅川真也氏、技術本部技術企画部 北川博也氏、インフラ技術研究所 技術開発部保全技術研究室 牧祐之氏

１０：１５ パネルディスカッション　建設コンサルタンツ協会関東支部
「ダイバーシティ＆インクルージョン」　聴講者：約６０名　オンライン視聴者：約４０名
出演：堤安希佳氏 建コン協関東支部副支部長・オリエンタルコンサルタンツ代表取締役事業本部長、中埜千里氏 日水コン河川事業部東部河川部、平岡史光氏 ニュージェック港湾・海岸G、鄭雅倫氏 日本工営中央研究所CIM推進センター。コーディネーター：日刊建設工業新聞社編集局 熊谷侑子

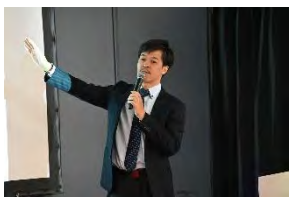
１１：３０　建設技術研究所　聴講者：約６０名　オンライン視聴者：約５０名
「安全・安心で快適な暮らしを支える新技術～インフラ管理のＤＸに向けて～」
都市部 田中裕之氏、交通システム部 五十嵐達哉氏、環境部 土井康義氏、情報･電器通信部 山下雄介氏

１２：１０　日本製鉄　聴講者：約４０名　オンライン視聴者：約４０名
「日本製鉄のカーボンニュートラルへの取組みとProStruct」
厚板･建材事業部厚板･建材企画室上席主幹 平川 智久氏

１３：００　マイナビ学生の窓口「建設産業界の魅力とキャリア 学生向けまるわかりﾄｰｸｾｯｼｮﾝ」
出演：ひげごろー氏、日刊建設工業新聞社編集局部長 牧野洋久
大林組土木本部生産企画部担当部長 大西健司氏、東日本高速道路総務・経理本部人事部人事課 白井晴也氏、パシフィックコンサルタンツ人事部人材開発室 田中佐帆氏

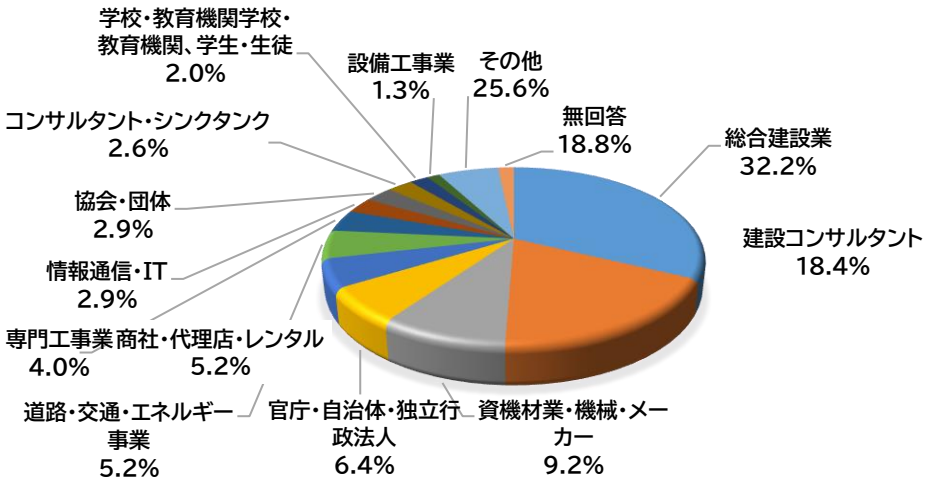
１４：４０　大成建設　聴講者：約６０名　オンライン視聴者：約４４０名
「持続可能でレジリエントな社会づくりのための技術」
技術センター技術企画部 片倉徳男氏、ｻｽﾃﾅﾋﾞﾘﾃｨ経営推進本部ｻｽﾃﾅﾋﾞﾘﾃｨ企画部ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ室 鏑木玲氏

１５：２０　人・夢・技術グループ　聴講者：約５０名　オンライン視聴者：約４０名
「人・夢・技術グループの水上都市に向けた取組紹介とｸﾞﾙｰﾌﾟ全体でのスマートシティ事業推進」
人・夢・技術グループ事業戦略推進統轄センター新事業イノベーション推進部ゼネラル・マネージャー、長大スマートシティ事業部都市地域計画部部長 今井母土子氏

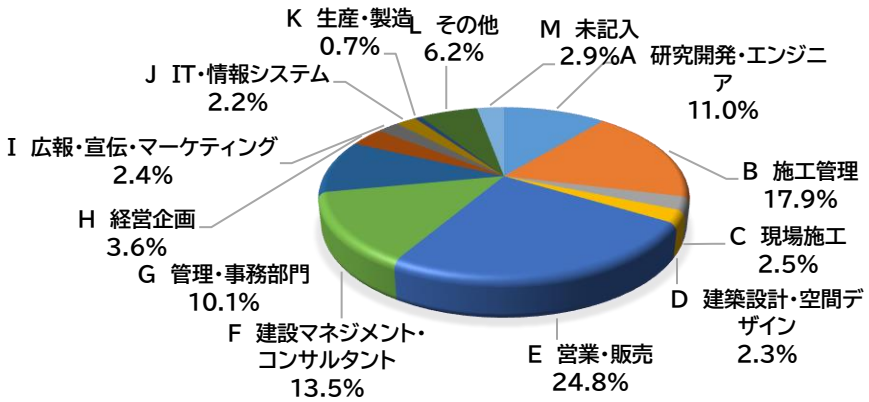


アンケート回答数：２，０８２件

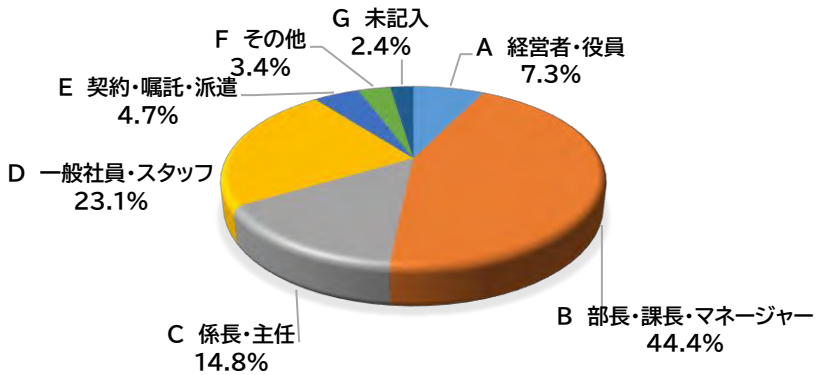
回答者属性①　業種



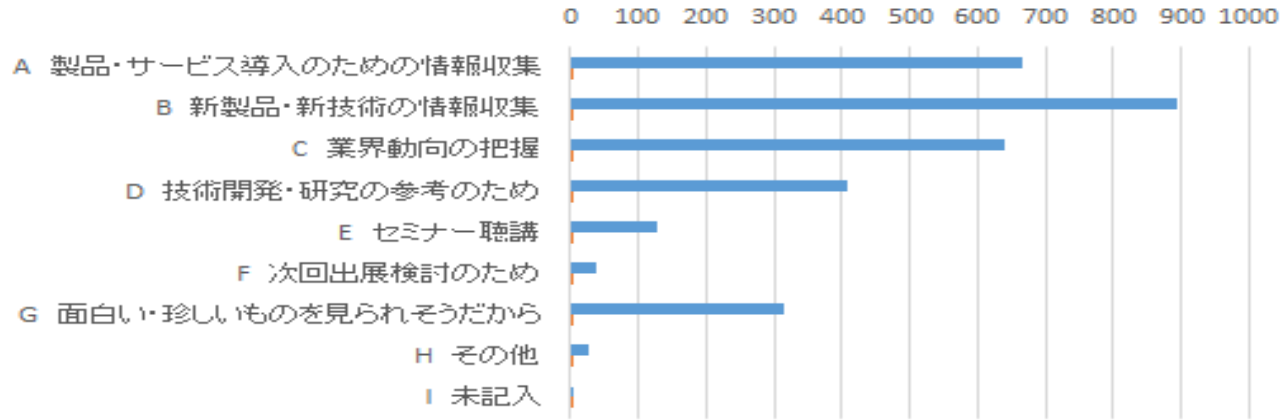
回答者属性②　職種



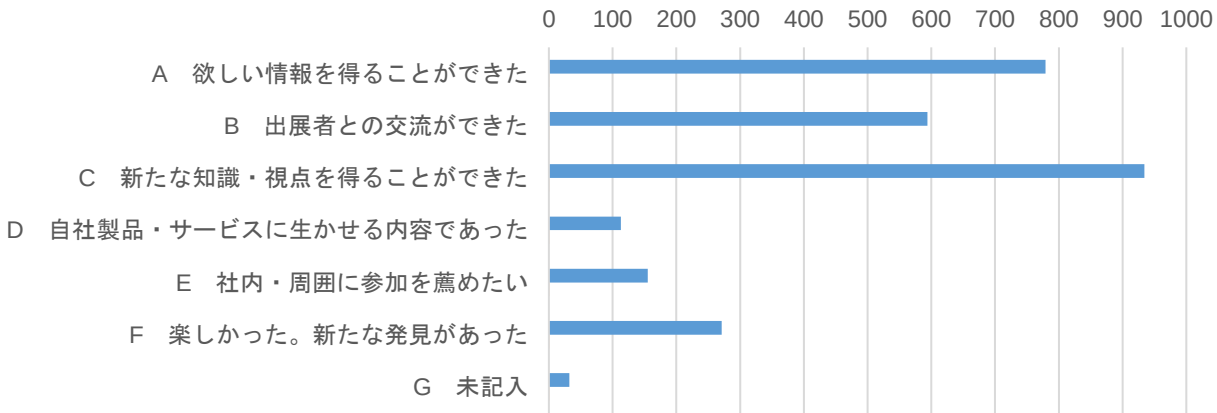
回答者属性③　役職



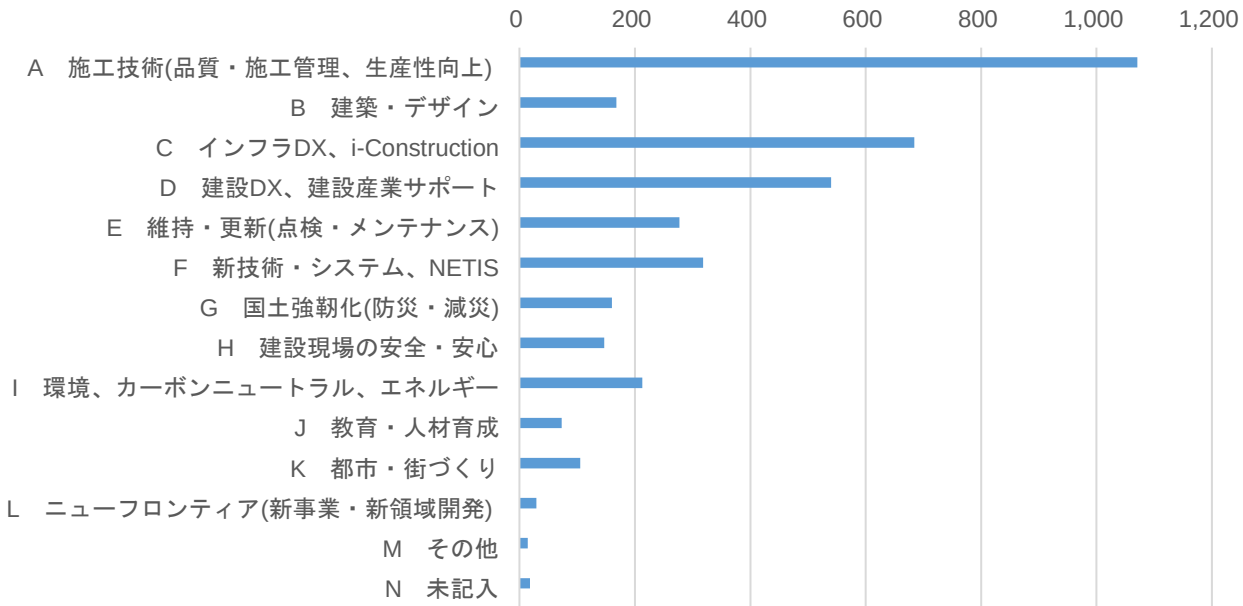
参加目的（複数回答）



参加の成果（複数回答）



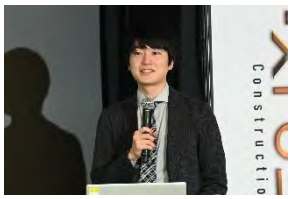
注目している分野（複数回答）



■学生参加プログラム

学生向けワークショップ「理系学生のための就職活動対策セミナー」
【日時】１１月１５日（水）１３：００
【会場】ステージB（ホールD）
【参加】大学生・大学院生：４６名
【企画・運営】キャリアナビゲーション「コンキャリ」
【進行】
①講演：キャリア・ナビゲーション代表取締役 長嶋哲夫氏
②ワークショップ

建設産業界の魅力とキャリア 学生向けまるわかりトークセッション
【日時】１１月１６日（木）１３：００
【会場】ステージB（ホールD）
【参加】大学生・大学院生：４１名
【企画・運営】マイナビ 学生の窓口
【進行】
①講演「建設業のすすめ」ひげごろー氏（関西建設学院講師）
②トークセッション　ひげごろー氏、日刊建設工業新聞社編集局部長 牧野洋久
③出展者プレゼンテーション　大林組土木本部生産企画部担当部長 大西健司氏、東日本高速道路総務・経理本部人事部人事課 白井晴也氏、パシフィックコンサルタンツ人事部人材開発室 田中佐帆氏



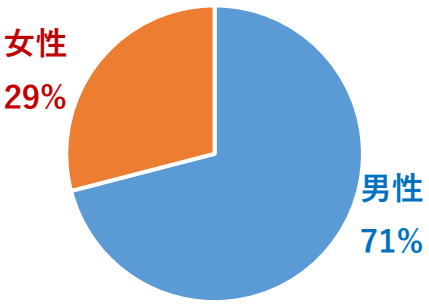
工業高校生見学ツアー
１１月１５日（水）
神奈川県立横須賀工業高等学校建設科２年生
１１月１６日（木）
田無工科高等学校都市工学科３年生、神奈川県立横須賀工業高等学校建設科１年生

■学生参加プログラム

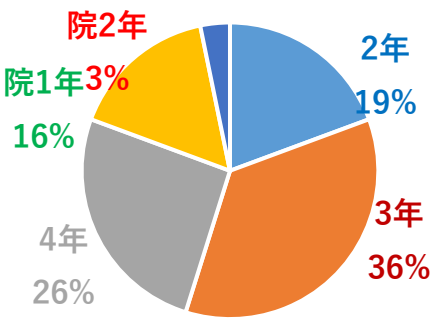
参加学校（順不同）：
早稲田大学、日本大学、法政大学、東洋大学、中央工学校、東京都立大学、東京電機大学、中部大学、芝浦工業大学、東京理科大学、文化学園大学、工学院大学、日本女子大学、中央大学、立正大学、大妻女子大学、埼玉大学、千葉工業大学、東京工業大学、明治大学、横浜国立大学、愛知工業大学、神奈川大学、関東学院大学、湘南工科大学、東京農工大学、信州大学、同志社大学、前橋工科大学、武蔵野大学、名城大学、明星大学、立教大学、慶応義塾大学、内モンゴル大学、岐阜工業高等専門学校、東京モード学園、東京デザイン専門学校、東洋美術学校、東京都立練馬工科高等学校
神奈川県立横須賀工業高等学校、東京都立田無工科高等学校、豊島岡女子学園

１１月１５日「学生向けワークショップ「理系学生のための就職活動対策セミナー」」参加者属性

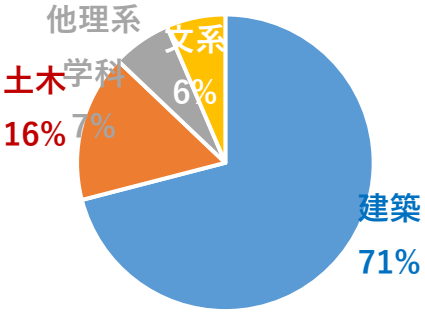
①戸籍上の性別



②学年別

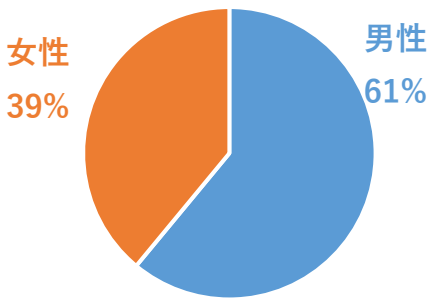


③文系理系

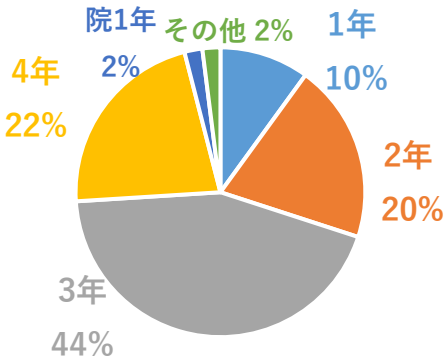


１１月１６日「建設産業界の魅力とキャリア 学生向けまるわかりトークセッション」参加者属性

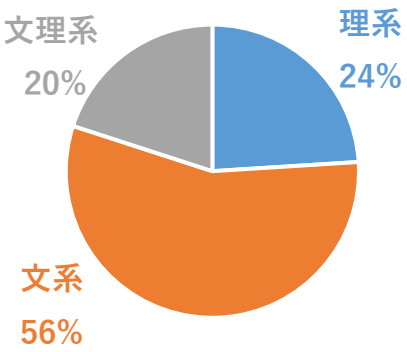
①戸籍上の性別



②学年別



③文系理系



参加学生の声

- 建設業界のトレンドを知ることが出来た普段では味わえない技術力というものがブースを通して伝わって来たのがこの建設技術展の良さだと思いました。建設とは素晴らしい！
- 求めている人材など具体的に聞くことが出来て良かった。
- 建設業は勝手に堅苦しいイメージがあったが、それが覆った。
- 建設業界についてほとんど知らなかったのですが、大変面白くわかりやすくその魅力をお伝えいただけたのでよかったです。
- 学生に対しても、どのような会社なのか、技術があるのか丁寧に説明していただき嬉しかった！
- 各業種の業務内容が知れてよかった。
- 実際どんなものを使ってものを作りあげているのか、日々のどの部分の当たり前を作っているのかを詳しくしれたと思います。そして、人事の方でなく、現場の方の声で聞けたため、どう働いていく事になるのかまでも想像することができました。
- 普段なかなか見ることのできない技術を見ることができ、就活では見ることのできなかったたくさんの企業を見ることができてよかったです。
- 高速道路の重要性が問い直されている今だからこそ、関心を持ち参加しました。勉強になることが多く、また新たな問題提起も自分の中で生まれたので有意義な時間になりました。

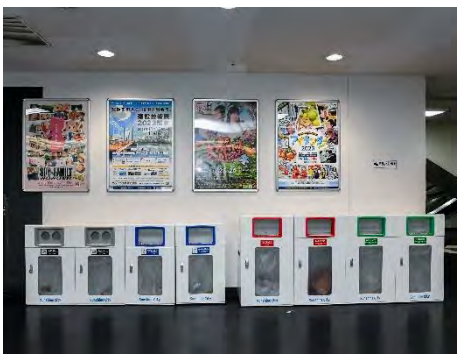
■ 広報活動　告知

▼Ａ２ポスター

▼Ｂ１ポスター

▼チラシ

主な掲出、配布先
- 出展者はじめ共催、後援団体
- 日経コンストラクション読者（首都圏）
- 首都圏自治体、全国の大学の建築・土木系研究室
- （関東地方整備局主導）企業・公共団体、首都圏道の駅
- 小紙読者および弊社取引先
- サンシャインシティ館内



▼新聞・雑誌広告

▼バナー広告

掲載メディア
- 日刊建設工業新聞
- 環境新聞
- セメント新聞
- インターネット広告
  1．BUILT　バナー広告
  2．BUILT メールマガジン
  3．JBPress（日本ビジネスプレス）メールマガジン

▼１１月１４日付　日刊建設工業新聞 特集

▼サンシャインシティ　サイト

▼マイナビとコンキャリ　サイト

■　広報活動　報告

■日刊建設工業新聞

▼１１月１７日付

180者超出展 建設技術展関東が開幕
新たな技術との出会いに

日刊建設工業新聞社が主催する「Construction Xross(C-Xross)建設技術展2023関東」が15日、東京・東池袋のサンシャインシティ展示ホールC・D（文化会館ビル2、3階）で開幕した。前回を上回る186者の企業・団体が出展し、最新の技術・工法や導入事例、事業活動などを紹介する。会期は16日まで。入場無料（事前登録不要）。

今回のテーマは「想像を超える、技術と出会う」。開会式では、主催者を代表し飯塚秀樹日刊建設工業新聞社社長が「建設産業の技術力を余すことなくアピールする」と来場者に呼び掛けた。来賓の吉岡幹夫国土交通省技監は建設業で担い手の確保が求められる中、現場の省人化など生産性向上の観点で「DXにしっかり取り組まないといけない」と話し、インフラDXの推進に「産学官の連携が大事だ」と訴えた。

続いて建設業技術者センター理事長の谷口博昭氏が、世の中の変化に伴って「インフラ、建設業、建設技術も変化、進化、高度化していくことが肝要」と述べ、開幕を宣言。建設関連団体や行政機関の幹部を交えてテープカットを行った＝写真。

建設技術展は関東地方整備局の「建設技術フォーラム」と併催し、臨場とオンラインで実施。特設ステージでは16日にも行政機関の技術系幹部が講演し、建設関連団体によるパネルディスカッション、学生向けの業界紹介イベントなどが開かれる。

▼１２月１日付

写真で振り返る 建設技術展2023関東

本社主催／11月15、16日 東京・東池袋のサンシャインシティ展示ホールC・Dで

関東整備局 建設技術フォーラム

トークショー

学生向けイベント

セミナー

高校生向けガイドツアー

パネルディスカッション

展示

日間で1.3万人来場

官民識者が講演やセミナー

■他メディア

・環境新聞社・セメント新聞社・産業新聞社・日本金属通信社・鋼構造出版社・コンクリート新聞社

▼１１月２２日付　環境新聞

「建設技術展2023」閉幕
185社・団体が出展
約1万3千人が来場

建設産業の最新の技術や工法、製品、サービスなどを一堂に集めた「建設技術展2023」（主催＝日刊建設工業新聞社）が15、16の両日、東京都豊島区のサンシャインシティ展示ホールで開かれた（写真）。「想像を超える、技術と出会う。」をサブテーマに掲げた展示会には185社・団体が出展し、約1万3千人が来場（速報値）。産学官が交流し、建設産業の魅力を社会に発信する機会となった。

清水建設は、再生可能エネルギーに関する取り組みをメインに紹介。中でも国内トップレベルのシェアを持つ風力発電の実績を大きなパネルを使ってアピールした。担当者は「世界最大級の自航式SEP船を活用して洋上風力発電に貢献していきたい」と話した。

奥村組のブースでは、下水道管路内部の水位を光ファイバーセンサーを用いてモニタリングする技術が目を引いた。センサーや通信技術、水位計の固定治具に工夫を加え、省電力・高耐久性・機器設置の簡便性を図ったもの。同社では今後、水位計の未設置箇所を補完する技術として普及したいとしている。

上下水道や農業用水などの管路更生工法の普及に取り組むパルテム技術協会は、パルテムSZ工法やホースライニング工法などを紹介した。協会は同展示会の初回から出展しており、「管路更生工法の知名度を高めるよい機会になっている」と語った。

展示の他には、ステージでは講演会やパネルディスカッション、学生向けの就職活動対策イベントなども開かれた。

▼１２月１１日付　セメント新聞

「建設技術展2023関東」

新技術、製品・サービス展示

日刊建設工業新聞社（飯塚秀樹社長）は11月15、16日の2日間、東京・池袋のサンシャインシティ展示ホールで「建設技術展2023関東」を開催し、延べ約1万3800人が来場した。「想像を超える、技術に出会う」をサブテーマに大林組や鹿島、清水建設、大成建設、日本製鉄グループなど180を超える企業・団体が出展。新技術・工法や製品・サービスなどの展示に加え、多彩なステージ・プログラムを実施した。

開会あいさつで飯塚社長は「当技術展も関東地域で4回目の開催となり、国土交通省関東地方整備局をはじめとする共催・後援の皆さまのご支援の賜物と感謝申し上げる。建設技術展の技術力を余すところなくアピールし、わが国の未来を形づくるうえで、貴重な機会となればよいと考えている。想像を超える技術に触れるとともに、新たなビジネスの出会いの場としたい」と述べた。

会場では、建設の魅力を伝える企画展示として土木写真展「NO DOBOKU, NO LIFE」や「マイナビ学生の窓口」との共同企画「建設産業界の魅力とキャリア学生向けまるわかりトークセッション」に加え、理系学生のための就職活動対策セミナーとしてキャリア・ナビゲーション「コンキャリ」とともに、「学生参加プログラム」などの各種イベントが開かれ、会場を盛り上げた。

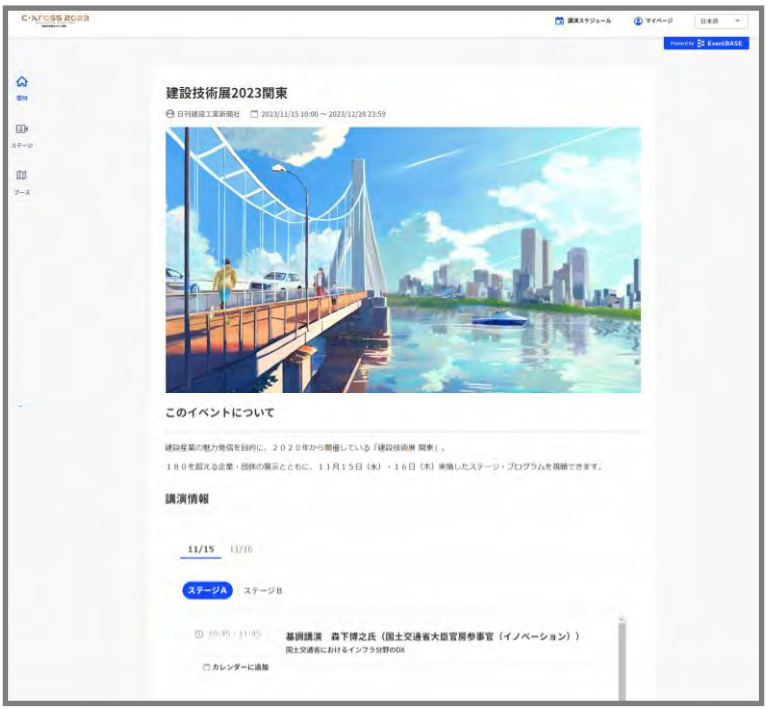
【実施期間】２０２３年１１月１５日（水）から１２月２８日（木）

【内　　容】

①企業・団体の紹介ページ

②ステージプログラムの放映　※１１月２２日（水）から１２月２８日（木）の間

▼トップページ



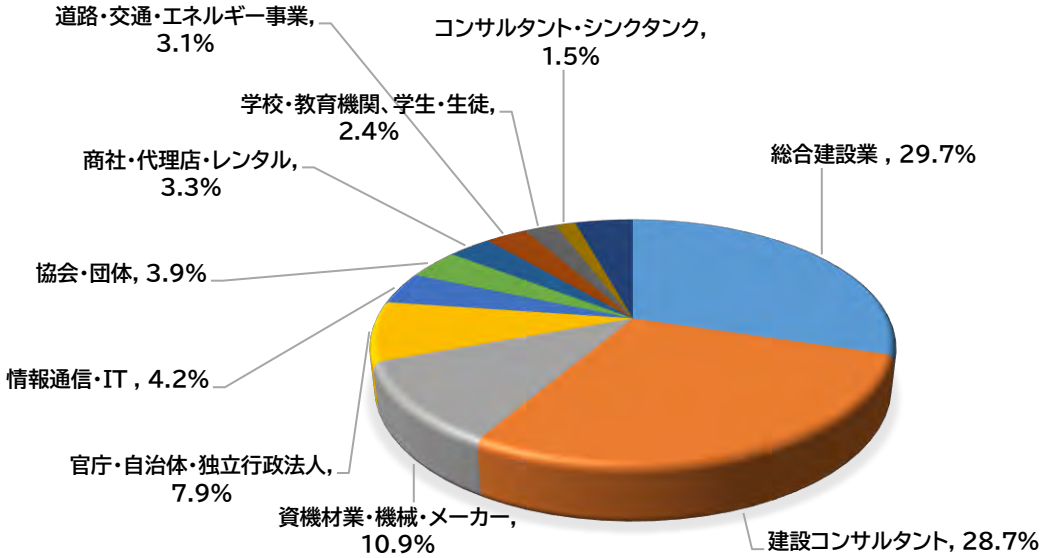
▼ステージプログラムのページ

▼企業・団体の紹介ページ

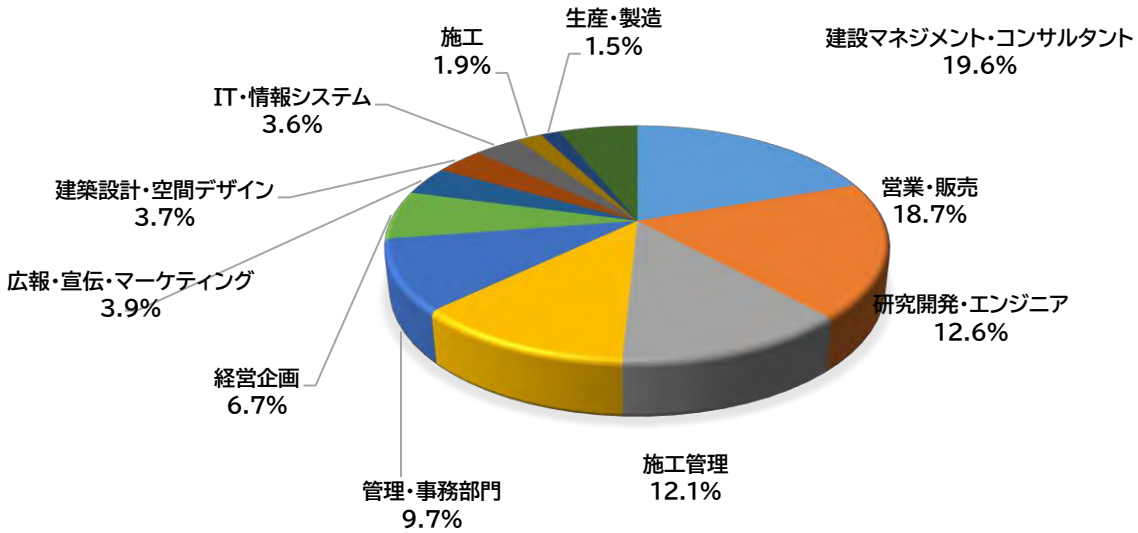
■ オンライン展示会　参加者属性

【参加者数】６，１５０名

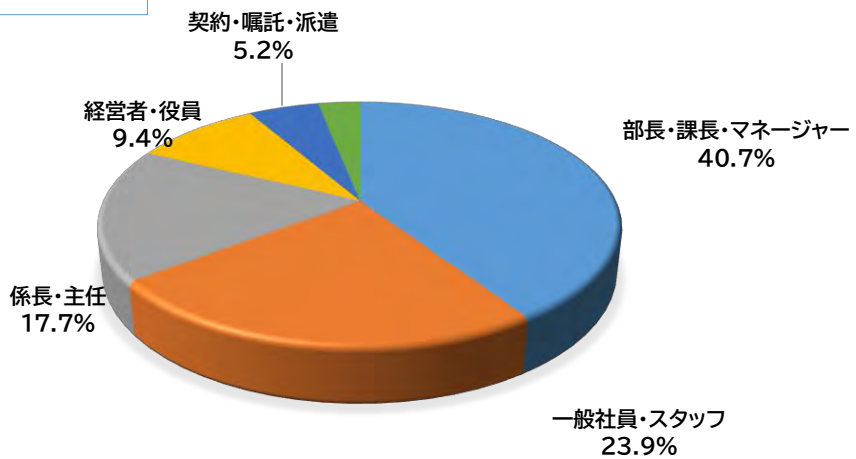
参加者属性（業種）



参加者属性（職種）

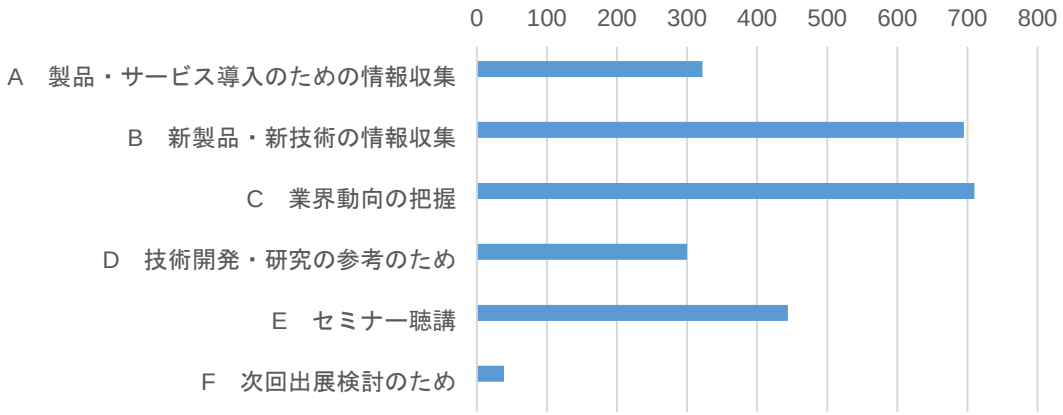


参加者属性（役職）

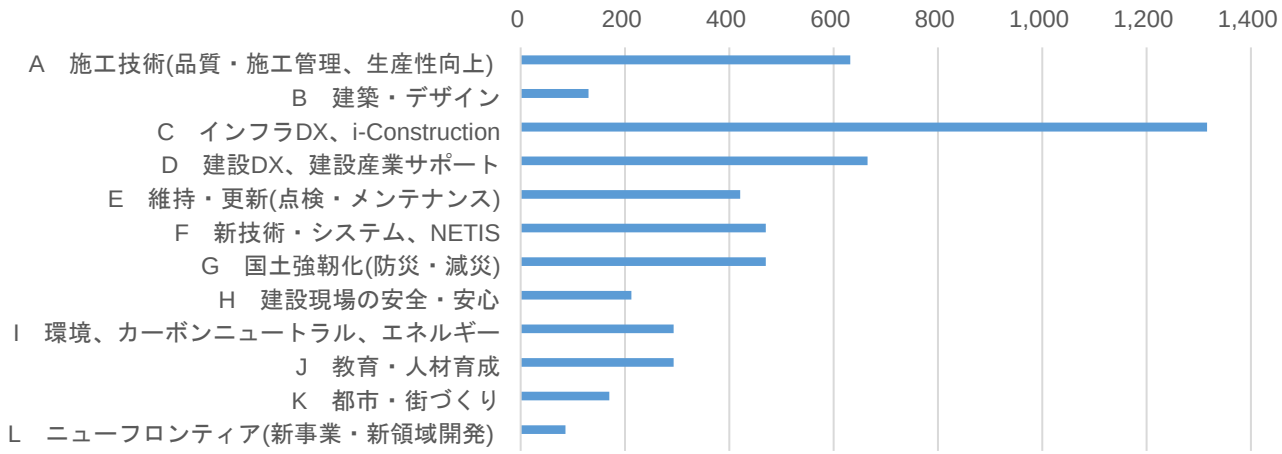


■ オンライン展示会　参加者属性

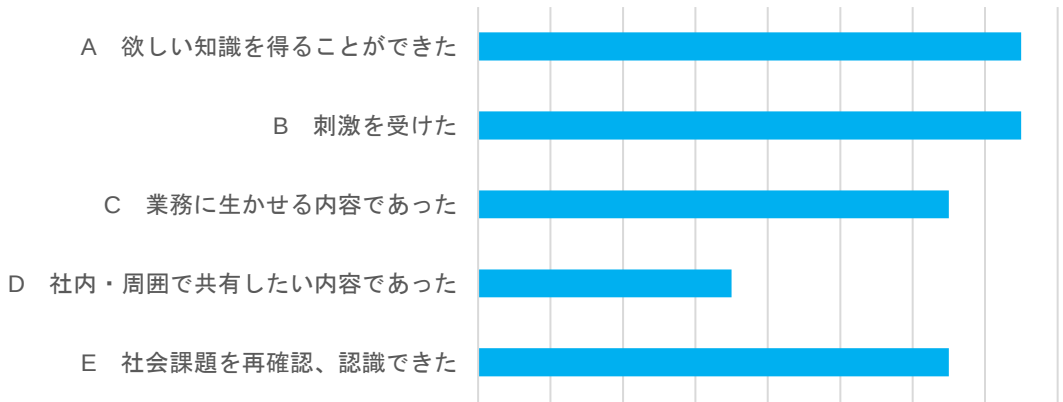
参加目的（複数回答）



注目している分野（複数回答）



参加の成果（複数回答）



■　注目技術賞

会場来場者とオンライン参加者による投票結果をもとに、１月２９日の審査委員会で選考し、次の通りに決定、発表特集を２月２１日（水）掲載しました。

最優秀賞「CONCRETE@i」（鹿島建設）
優秀賞　「AUVを用いた水ソリューションサービス」（エイト日本技術開発）
特別賞　「ボディバランスセーフティシューズ（安全靴）」（安藤ハザマ）
　　　　「アーバンリング工法」（加藤建設）

《審査委員》
佐藤直良 氏（元国土交通省事務次官、前先端建設技術センター理事長）※委員長
西川昌宏 氏（国土交通省関東地方整備局企画部長）
武藤慎一 氏（土木学会関東支部幹事長、山梨大学大学院総合研究部教授）
齊藤武文 氏（日本建設業連合会関東支部技術調査委員長、清水建設常務執行役員土木東京支店長）
大本　修 氏（建設コンサルタンツ協会関東支部長、パシフィックコンサルタンツ社長）
横川貢雄　　日刊建設工業新聞社取締役編集・出版担当

▼２月２１日付　１面記事と発表特集

建設技術展2023関東

注目技術賞決定

最優秀は鹿島「CONCRETE@i」

2023年11月に東京・東池袋のサンシャインシティで開いた日刊建設工業新聞社主催の「Construction Xross 2023（C－Xross2023）建設技術展2023関東」の出展技術の中から、注目技術賞4件が決まった。最優秀賞に選ばれた鹿島の「CONCRETE@i」は、AIなど先進技術を組み合わせつつ、構造物の主要材であるコンクリートの品質や生産性を継続的に高める取り組みとして評価された。

＝8面に詳しく

優秀賞にはエイト日本技術開発が出展した「AUVを用いた水ソリューションサービス」を選定。インフラメンテナンス時代のニーズを捉え、人手不足の解消にも寄与することなどが選定理由に挙がった。

特別賞として安藤ハザマの「ボディバランスセーフティシューズ（安全靴）」、加藤建設の「アーバンリング工法」の2件を選出。メーカーと連携した現場技術者・技能者の安全・健康支援、地方発の技術提案といった取り組みが業界全体に与えるインパクトに期待感が示された。

会場とオンライン展示会の来場者投票の上位技術を、有識者による審査会が評価した。今年も11月13、14の両日に同会場で「建設技術展2024関東」を開く。

「CONCRETE@i」の説明に耳を傾ける来場者ら

2024年（令和6年）2月21日（水曜日）　（8）

C-Xross2023　建設技術展2023関東

日刊建設工業新聞社主催

注目技術賞４件選定

来場者投票技術を有識者らが審査

14技術の先進・活用・安定性など評価

2023年11月15、16の両日に東京・東池袋のサンシャインシティと、同11月15日～12月28日の間にオンラインで開いた日刊建設工業新聞社主催の「Construction Xross 2023（C－Xross2023）建設技術展2023関東」の出展技術の中から、注目技術賞4件が選定された。会場・オンライン展示会の来場者投票で上位の14技術を、有識者らで構成する審査会が厳正に評価。最優秀賞には鹿島の「CONCRETE@i」が輝いた。優秀賞にはエイト日本技術開発が出展した「AUVを用いた水ソリューションサービス」、特別賞として安藤ハザマの「ボディバランスセーフティシューズ（安全靴）」、加藤建設の「アーバンリング工法」の2件がそれぞれ選ばれた。

＝1面参照

〈優秀賞〉　エイト日本技術開発

AUVを用いた水ソリューションサービス
自律航行で多項目データを同時取得

〈最優秀賞〉　鹿島

CONCRETE@i　（コンクリート・アイ）
全工程をデータで見える化　品質・生産性向上に寄与

加藤建設　〈特別賞〉　安藤ハザマ

アーバンリング工法（都市型圧入ケーソン工法）
厳しい施工環境に対応した地方発技術

ボディバランスセーフティシューズ（安全靴）
美しい歩行で災害予防し疲労も軽減

C-Xross 2024
Construction Xross 2024
建設技術展2024 関東
主催：日刊建設工業新聞社
4月から出展者募集開始
日時　2024年11月
13日(水)10:00～17:00
14日(木)10:00～16:00
会場　サンシャインシティ
展示ホールC+D
(東京都豊島区東池袋3-1-4)
お問い合わせ　日刊建設工業新聞社 事業本部 建設技術展担当　TEL.03(3433)7154　E-mail kengi2024@decn.co.jp

C-Xross®

Construction Xross 2023

2023

建設技術展2023 関東